

龍谷大学福祉フォーラム

第29回専門セミナー



ともにいるための支援 待てない現場におけるジレンマ

近年の支援実践では伴走や寄り添いといった当事者との協働的な姿勢が強調されていますが、当事者の思い、歩みにペースを合わせることは、どの時代も変わらない支援原則です。その意味で、「待つ」ことは支援の原点でもあります。

一方で、社会一般にタイパ、コスパなど合理性や効率性が重視され、支援現場においても、予算、人員の余裕が乏しい上に、費用対効果、制度要件からの適否など現実的側面からの支援展開が求められています。

こうした実践のあり方は、支援を急がせ、支援者間での意識と関わりの差異を広げ、連携を阻む要因となりえます。また支援を無機質化させかねない現実には、支援者の痛みとして実感され、疲弊やストレスの一因となっていくます。

このセミナーでは、ゆとりある実践が難しい時代だからこそ、改めて「ともにいるという支え」を考えてみたいと考えています。

待てない現実の中で「待つ」ことをどう意味づけていくのか、さまざまに「待つ」と向き合っている実践者のお話から学ぶ時を持ち、ご参加いただく皆さんとも思いを共有する機会ができればと思っています。

対象者 福祉、医療、行政、NPO等の支援実践者等（本学教職員・大学院生・学生含む）

日時 2025年1月18日（土） 13時30分～15時30分

場所 龍谷大学瀬田キャンパス グループワーク実習室、多目的実習室等

進行

- ・導入「待つことと支え」 山田 容（龍谷大学社会学部教授）
- ・実践報告
川添芽衣子さん（済生会滋賀県病院MSW 社会福祉士）
恒松睦美さん
（特定非営利活動法人あめんど、草津市SSW 社会福祉士・精神保健福祉士）
藤田祐介さん（ことう法律事務所 弁護士・社会福祉士）
- ・コメント 桐高とよみさん（特定非営利活動法人ぱんじー 社会福祉士）
- ・グループディスカッションとアフタートーク
※それぞれの思いを分かち合いましょう

受講料 2,000円 (税込み)

定員に余裕があれば、本学教職員・大学院生・学生が受講することがあります。
(受講料無料)

定員 40名 (先着順)

受講申込期間 2024年11月11日 (月) ~ 2025年1月10日 (金)

受講申込方法

下記のサイトまたはQRコードから詳細を確認してお申し込みください。



<https://r-fukushi202401.peatix.com> (グループ・イベント情報サイト Peatix)

留意事項

1. 申込みが15名未満の場合は、講座を中止することがあります。
2. お申込みには Peatix の登録が必要になります。スムーズな申込みのため、事前に登録されることを推奨いたします。

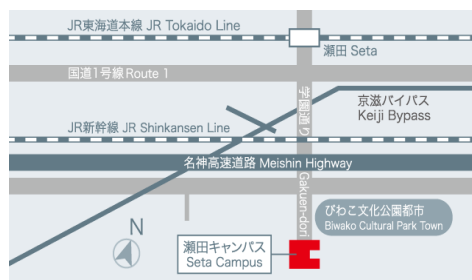
お問い合わせ先



龍谷大学福祉フォーラム事務局 (REC滋賀)

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5

TEL 077-544-7299 Fax 077-543-7771



龍谷大学 瀬田キャンパス

交通機関でのアクセス

- JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田」駅下車
帝産バス「龍谷大学行き」乗車約8分
- 名神瀬田東・西ICから文化ゾーン方面へ約10分